

登録コード	E8365400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	昆 万佑子
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					数学の深い理解が学校教育の現場でどのような意義を持つかを考察し、自身の研究成果を分かりやすく発信する努力を通じて、教育の専門家としての公共的使命感を自覚し、説明できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					自身が設定した数学のテーマに応じて探究を深め、論文にまとめることにより、教育の専門家として不可欠な専門的な知識を習得し、説明することができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	ゼミ形式で、卒業論文に関係する文献を講読し、質疑応答する。 設定した研究課題に関する研究を行い、卒業論文としてまとめ、発表する。						
(5)授業計画	各自の興味・関心に基づき、各自の卒業研究のテーマを選択し、研究課題を設定する。次に、研究を進めるにあたって必要となる文献等を収集し、熟読することを通じて、設定した研究課題の解決を試みる。最後に、研究の成果を卒業論文としてまとめる。上記のプロセスは一方的に進むものではなく、振り返って検討してみたり、一応の解決が得られた後により精緻化したりと、研究の進捗状況に応じて進むものである。						
(6)成績評価の方法	卒業論文の内容で評価を行う。 秀： 授業の達成目標水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標水準にある 不可（ 不可（ D ）： 授業の達成目標水準よりやや下にある 不可（ 不可（ F ）： 授業の達成目標水準にない						
(7)成績評価の基準	研究内容をまとめた論文が書ければ「水準にある」。例題の提示，参考文献の省略された証明を補うなどの工夫があれば「やや上にある」。さらに，論文として体裁が整っており，十分な工夫があれば「かなり上にある」。オリジナリティがあれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	各自選択した文献を読み進め，質疑応答の準備をする。その回の内容で復習が必要な箇所は，進行に応じて指示する。						
(9)履修上の注意	最初の講義で受講上の注意事項・約束を説明する。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問受付：N323，随時 連絡先： mayuko_k@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	未定						
【参考文献】	各自の卒業研究のテーマに応じて選択される。						